

お近くの再生可能エネルギー施設を見に行ってみませんか？

次世代エネルギーパークという再生可能エネルギー発電設備を見学できる場所もあります。(全国 48 か所)
詳細はこちら <http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/park/>



風力発電

遊佐風力発電所 (山形県遊佐町)
総出力 14560kW の風車に蓄電池を併設した出力変動緩和制御型風力発電所。蓄電池システムの有効性を実証させ、蓄電池システムの適用の幅が広がることを期待。



地熱発電

大霧発電所 (鹿児島県大霧市)
霧島山にほど近く、大霧地熱地帯の地熱によって加熱された高温の蒸気を利用して、出力 30000kW の発電を行います。国立公園内にあるため、周辺環境との調和も考慮。



太陽光発電

メガソーラーたけとよ (愛知県武豊町)
「メガソーラーたけとよ」は、武豊火力発電所構内の約 14 万 m² の敷地に約 39000 枚の太陽光パネルを設置した、発電出力 7500 kW の大規模太陽光発電所です。



バイオマス発電

オエノンホールディングス株式会社 苫小牧工場 (北海道苫小牧市)
米を主原料とするバイオマスエタノール製造実証プラントです。原料調達からバイオエタノールの製造・販売まで一貫したバイオ燃料の製造実証に取り組んでいます。



中小規模水力発電

虎王発電所 (群馬県上野村)
上野ダムの上流の河川から取水しており、約 101m の有効落差を利用して発電する最大出力 270kW の水力発電所です。2011 年 11 月から運転開始。



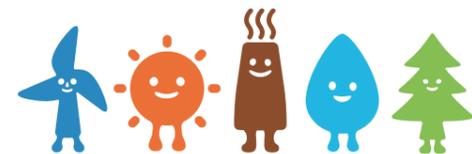
「再生可能ボーイズ」結成!!

それぞれの再生可能エネルギーを応援するユニット「再生可能ボーイズ」誕生! ニュースやネットで話題に。全国横断で「笑エネLive～笑いもエネルギー～」を開催!

買取制度 **GO!** www.enecho.meti.go.jp/saiene/

フェイスブックや
ツイッターも
ご覧ください!

フェイスブック
<http://www.facebook.com/meti.saiene>
ツイッター
https://twitter.com/meti_saiene



みんなで育てる
再生可能エネルギー

固定価格買取制度にご理解ご協力を

経済産業省
資源エネルギー庁

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

再生可能エネルギーを、 応援します。



再生可能エネルギーをみんなで育てる 固定価格買取制度が始まっています。



再生可能??

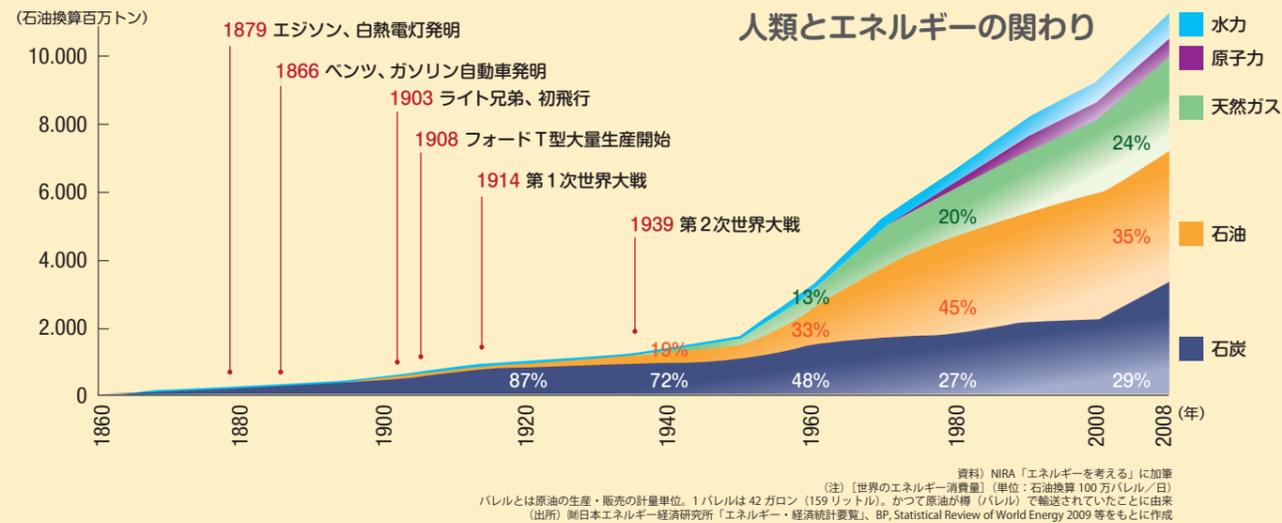
再生可能!!

経済産業省
資源エネルギー庁

もっと仲良くできるかな？再生可能エネルギー。一緒に暮らそう。つきあおう。



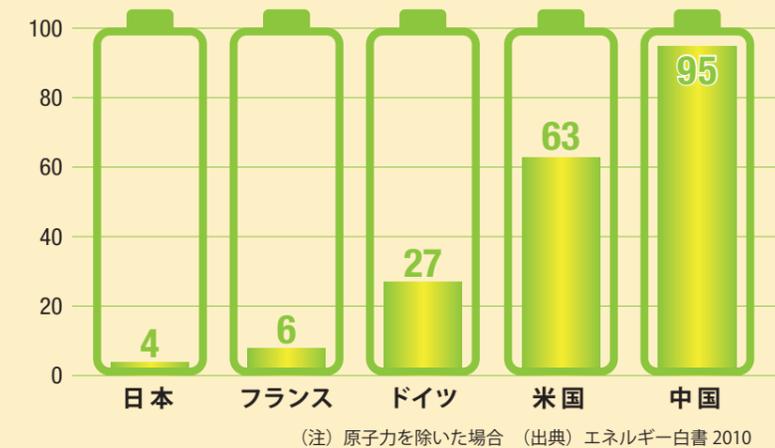
わたしたちの暮らしや経済は、石油や石炭、天然ガスなど化石燃料にその多くを頼っています。世界のエネルギー需要は急速に増えており、現在、96%を海外からの輸入に頼っている日本にとっては、今後とも厳しい状況が続きます。



エネルギー自給率=4%である日本ですが、そんなわたしたちにも、太陽や風、水、森林をはじめとする自然のなかにある豊富な再生可能エネルギー資源があります。

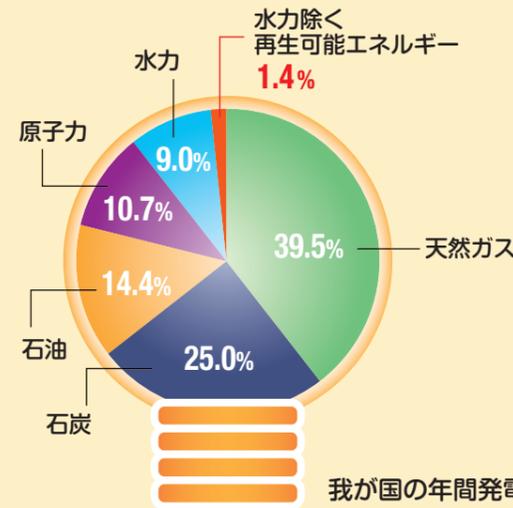
再生可能エネルギーとのパートナーシップ。もっと仲良く、「一緒に暮らす」という発想で、おつきあいしてみませんか。

エネルギー自給率の国際比較



現在、日本のエネルギー自給率は、わずか4%のみ。これは諸外国に比べてもとても低い数値です。

なかなか増えない再生可能エネルギー、なぜ？

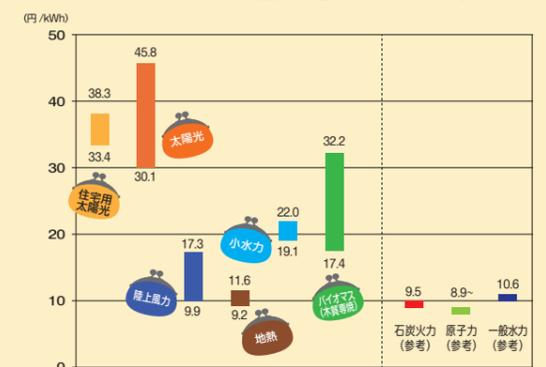


太陽の日照条件も良く、東北・北海道を中心に風力に恵まれた地域も多い日本。縦に長い日本列島は、その地域ごとの多様な再生可能エネルギーに恵まれています。しかも、火山国である日本は、地熱資源量で見ると世界第三位。なのに、現在、日本の再生可能エネルギーは、大型ダムを含む水力を除くと、たったの1.4%しかありません。

そのひとつの理由は「コストの問題」。まだまだコストが高いのが現状なので、なかなか普及が進みません。再生可能エネルギーの種類によって幅はありますが、太陽光で約40円、その他は20円前後とされています。

これが食材の話なら、高級な食材は高級レストランで高く売ることができそうですが、電気は、何から作っても値段は同じ。厳しい市場競争の中では、コストの高い再生可能エネルギーを選ぶのは、難しいことなのです。

コスト等検証委員会による主要電源のコスト試算



もっと仲良くなれるかな？

そんな声のもと、固定価格買取制度が生まれました。

再生可能エネルギーは、環境にとっても優しく、明日の暮らしを明るくしてくれる、わたしたちのエネルギーにとって大きな可能性を秘めた、とても大切な選択肢です。そこで、電気の利用者のみんなと協力して「今は高い再生可能エネルギーを買い支えて、大きく育てよう」と生まれたのが、「固定価格買取制度」です。2012年7月からスタートしました。

再生可能エネルギーには、個性があります。

太陽光発電

太陽電池は太陽の光エネルギーを直接電気に変えます。

ご家庭でも発電できるほか、工場や学校等公共施設への導入、メガソーラー発電所の建設なども進んでいます。今後のコスト低下が課題ですが、屋根貸し事業や市民共同発電所など、新しいビジネスモデルが生まれています。



風力発電

「風のちから」で風車をまわし、その回転運動を発電機に伝えて電気をおこします。

大規模に発電できれば、その発電コストは火力などに負けません。落雷・台風対策など日本の実情に即した技術の開発や、立地の制約、系統線の整備といった課題がありますが、小型のものや洋上風力などの新技術も登場しています。



中小規模水力発電

水が豊富な日本。小さな水力も無駄なく利用して電気を作ります。

安定的な発電が可能で技術的にも成熟しています。中小規模のものであれば、まだまだ開発余力がありますが、開発地点が奥地化・高コスト化しているのが課題です。河川その他、農業用水、水道など都市や地域の一角で発電するマイクロ水力も注目です。



バイオマス発電

バイオマス資源を燃やした熱などで電気をつくります。

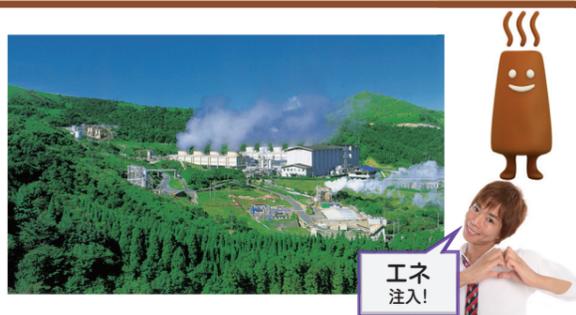
森林や家畜のふん尿など、生物がもとになった有機物の資源をバイオマスといいます。地域の未使用の資源を有効利用でき、安定して電力供給できます。他用途とも両立するよう上手に資源を作っていくことが大切です。



地熱発電

地中の熱い蒸気のちからで電気をつくる、「火山国」日本を活かすエネルギーです。

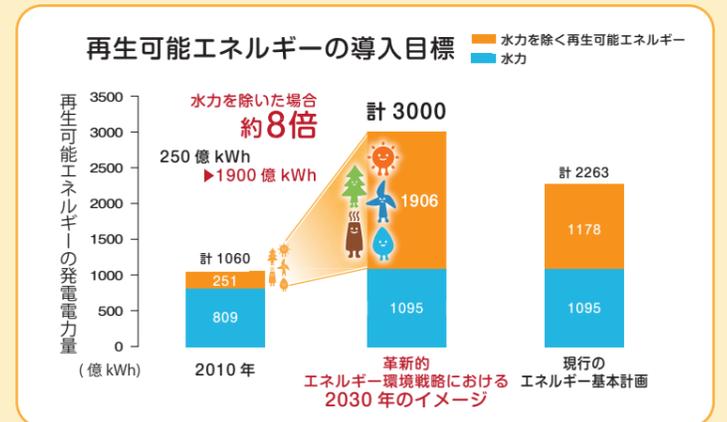
火山国日本には世界第3位を誇る地熱資源量があります。開発から完成まで10年以上かかるなど大作業ですが、安定的な発電が可能で技術的にも成熟しています。自然公園規制との両立など環境保護とのバランスも重要です。



どんな未来が見えてきますか？

1. 再生可能エネルギーは、「国産エネルギー」。エネルギー自給率がアップします。
2. 地球にやさしく、温暖化対策に役立ちます。
3. 日本の未来を支える産業を育てることができます。

政府は、再生可能エネルギーを2030年までに現在の3倍。水力を除いた場合約8倍にする目標を立てました。



「何が起きても日本のエネルギーは大丈夫！」と言えるように、再エネを、火力などと並ぶ大きな選択肢に育てることで、安心かつグリーンなエネルギー社会を作っていかななくてはなりません。

生活が変わると、社会が変わる。
エネルギーは、
支え合いの時代へ。

